

会 議 録

会 議 名	第19期小金井市公民館企画実行委員の会議 第8回		
事 務 局	公民館 本館		
開 催 日 時	平成19年 4月 3日 (火) 午後10時から正午		
開 催 場 所	公民館本館学習室A		
出 席 委 員	遠藤委員、大森委員、片山委員、末包委員、吉田委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	松本係長、中福係長、岡野主任、渡辺社会教育主事、和田主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 議題</p> <p>① 人事異動について</p> <p>② 新年度の担当について</p> <p>③ 市民講座について</p> <p>④ 福社会館まつりについて</p> <p>⑤ 成人大学について</p> <p>⑥ 文部科学省委託事業報告について</p> <p>⑦ 東京都公民館研究大会アンケートについて</p> <p>⑧ その他</p>		

## 会議結果

司会：片山委員

### 1 人事異動について

中福： 4月1日付けで私が障害福祉課に、岡野職員がスポーツ振興課に異動になりました。代わって資産税課から松本係長が、公民館貫井南分館から和田職員が配属されました。

岡野：貫井南分館に3年、本館に5年、あわせて公民館には8年になります。異動先は同じ教育委員会ですので、これからもお会いする機会も多いと思いますのでよろしくお願いします。

和田：去年貫井南分館に来ました。成人学校、成人大学、男女共同参画講座などを担当していました。その前は、障害福祉課にいました。今度、青年学級「みんなの会」を担当すると思いますが、前の仕事との関係ではやり易い面と、やり難い面があります。

### 2 新年度の担当について

渡辺：昨年どおりの担当でよければ、簡単に決まります。異世代交流事業は新事業なので企画実行委員の昨年の担当はありませんでした。

中福：異世代交流事業は、大学教授を講師にするというのではなく、多様な経験をもつ市民が講師になり、世代を超えて交流するという趣旨です。

和田：貫井南分館では、地域のぬくい会の方々が講師となり子どもたちに囲碁を教える、という講座を少年教育事業でやっていました。子どもたちの中には、日本棋院に通うようになる子がでるなど盛況です。

片山委員：子ども体験講座とクロスする面がありますね。ただ、貫井南は児童館と併設ということで、本館は、また来る人が違うので、もうすこし上の世代を対象にする講座をやることはどうでしょうか。今、不審者対策ということで、子どもたちは知らない人に係わらないように、といわれています。

吉田委員：今、子どもに「おはよう」と声をかけても返事をしてくれないということがあります。

話し合いの結果、別紙1のように決まりました。

### 3 市民講座について

渡辺：昨年度の報告です。自主サークルが発足しました。名前は、「8mmFILM小金井街道プロジェクト」です。また、今年度の市民講座には、環境問題をという提案がありました。大森委員からは、別紙のような提案がありました。

中福：私は、瀬戸昌之さんを推薦します。前にも公民館でお願いし

たことがあります。他市の公民館でもお呼びしています。「環境問題は、行政を変えることだ」ということを言っています。水問題、堆肥化など、環境問題ではオールラウンドで語ることが出来る方だと思います。

末包委員：今、ゴミの減量が急務という状況ですので、水問題などもテーマとすると散漫になるのではないのでしょうか。ゴミの減量については、評論家ばかりが多いのですが実践することが大切です。私の場合、二枚橋にもっていくゴミはほとんど出ませんでした。

吉田委員：しかし、気をつけても贈答品などでゴミがでるということはありませんが。企業から変わらないといけないのですね。

大森委員：日本は、環境先進国などと言ってますが本当はどうでしょうか。例えば、台湾ではかなり以前から買い物袋のときポリ袋は出していません。小金井市も工夫して、買い物袋を減らすために袋を使わない人のために市内共通カードを目指すなどを進めるべきです。市で出しているお知らせのなかの、「4月からのゴミ処理のメドがつかました」という言葉は市民のゴミ減量にかける意気込みに水をさすことにならないか、心配です。

7月講座実施をめざして、4月11日に担当者会議を持つこととなりました。

#### 4 福社会館まつりについて

討議の結果、公民館の主催事業案として、映画「日本のこどもたち」の上映、講座実施「公民館で活動することの意味」（講師 朝岡幸彦さん）、が決まりその他、市の担当課を呼んでゴミ減量に向けてのPRコーナーを提案するなどが決まりました。

#### 5 成人大学講座について

渡辺：先日担当者会議を持ちました。大森委員から提案のありました、山田有策教授をお呼びして、司馬遼太郎の「坂の上の雲」を中心に話してもらおう、という案でまとまりました。

#### 6 文部科学省委託事業報告

中福：東京都から公民館宛にきた「公民館等におけるニート支援モデル事業」については、田頭祐子さんが担当してくれました。「トワイライト公民館」という名の企画です。「人権講座」は、手を挙げたのが、小金井と昭島でした。片山委員にお手伝いいただき、小金井の企画は、「子どもの権利条約を学ぶ」、「権利意識ワークショップ」、「メディアリテラシーについて学ぶ」「メディアで発信」その他の企画となりました。実行委員会形式で会議をもって進めます。そのメンバーは、新聞記者、映像関係者、公民館企画実行委員、公民館運営審議会委員、児童青少年

	<p>課、大学教員など呼びかけて5回の会議をもって進めることを予定しています。</p> <p>かつては、各館に青年学級がありました。今は、本館の青年学級だけとなっています。青年が集まらないので、やめたというだけではすまないと思います。本来、公民館は、単発の講座を実施するだけというところではなく、そこに居場所があるんだという事業があって、それが公民館の良さであったのだと思っています。それが、もともと持っている公民館の機能だと思いますので、ぜひこの企画を成功して、将来、事業予算化を目指していただきたいと思います。</p> <p>7 東京都公民館研究大会アンケートについて  中福：今年度の研究大会は、昭島市が開催市となります。別紙のとおりアンケートがきています。至急、記入して提出してください。</p> <p>8 その他  先日の公運審に二人の企画実行委員が傍聴しました。  遠藤委員：公運審の委員内部で、意思の疎通が少しよくないような気がしました。  末包委員：公民館の方針づくりが議論されていました。たいへん立派な議論でした。絵に描いた餅にならないようになれば、と思います。</p> <p>次回の企画実行委員の会議は、5月1日（火）10時から</p>
<p>提出資料</p>	<p>別紙1 公民館本館 事務分担表  別紙2 大森委員提出資料「ゴミゼロへの挑戦」  別紙3 第45回東京都公民館研究大会の大会テーマ等</p>

--	--